

## 平成 30 年度 研究計画書

Research Plan FY2018

講座名・職名 Course Title・Job Title	日本語・日本文化講座 助教
氏名 Name	小 池 康
専門分野 Academic Field	日本語学

### 平成 30 年度 研究計画（ホームページで公開） Research Plan FY2018 (Post on Website)

主たる研究テーマ Principal Research Subject	近現代日本語文法の変化・変遷過程の実証的研究				
研究計画（400 字～500 字で記入すること。） Research Plan (Approximately 100 Words)					
<p>明治期以降現代に至るまでの日本語の文法に関連した事象において観察される変化や変遷の過程を明らかにする。本研究者はこれまで上記の期間全体を大枠として設定し、その中での変化・変遷について研究を行ってきた。その結果、変遷過程の流れについてはある程度の傾向性を認めることができた。また、それと共に、その変化の内実的な意味についても「単純化」「分析的傾向（一語一義化）」「焼きつけ」などのキーワードによって説明しうるものであることがわかった。</p> <p>そこで、次の段階として、期間を細分化し、その中での文法事象について考察を深化させようと考えた。近年、日本語学ではさまざまなコーパスが確立し、それを利用した研究も多岐に渡っているが、言語変化という視点での研究はまだ多くはないようである。今年度は、これらのコーパスを用いて、特に太平洋戦争後の日本語の文法事象を中心にその変化・変遷過程の一端を明らかにしたいと考えている。</p>					
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research *1	言語学関連	日本語教育関連	日本文学関連		
キーワード Keywords*2	現代日本語	文法	言語変化	言語の変遷	コーパス